

第 5 回生命医薬情報学連合大会 (IIBMP2016)  
(日本バイオインフォマティクス学会 2016 年年会)  
開催趣意書

## 開催概要

開催日：2016 年 9 月 29 日 (木) ～10 月 1 日 (土)

開催場所：東京国際交流館プラザ平成 (東京・お台場)

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1

URL：<http://www.jsbi.org/iibmp2016/>

テーマ：ユビキタスな人工知能時代を先導する生命情報科学を考える

主催 (予定)：

日本バイオインフォマティクス学会 (JSBi)

日本オミックス医療学会

情報計算法学生物学会 (CBI 学会)

## 開催趣旨

第 5 回生命医薬情報学連合大会 (IIBMP2016) を 2016 年 9 月 29 日から 10 月 1 日まで、東京・お台場の東京国際交流館プラザ平成にて、日本バイオインフォマティクス学会、情報計算法学生物学会、日本オミックス医療学会の共催で開催します。

IIBMP は 2012 年から、生命情報科学研究および生命科学・医学、薬学研究の発展のために、日本バイオインフォマティクス学会、情報計算法学生物学会、日本オミックス医療学会の共催で開催されるようになりました。2012 年と 2013 年は東京の船堀で開催され、2014 年には初めて東京を離れ仙台で、2015 年には京都大学宇治キャンパスの京都大学化学研究所バイオインフォマティクスセンターを中心として「生命情報ビッグデータ時代のバイオインフォマティクスの挑戦～環境から医療まで」というテーマで開催されました。京都大会では、生命情報科学にとどまらず微生物生態学会との交流が行われました。参加者も情報科学、生命科学、医学、薬学等のさまざまな分野の研究者約 300 名が参加し、口頭発表、ポスター発表、企業展示・セッション等を通じて活発な議論がなされました。また、個人情報保護法の改正に際したゲノム情報利用に関する提言などのとりまとめも行われ、アカデミアから産業界まで広い分野をカバーする年會に発展してきています。

2016 年は場所を東京に戻し、引き続き 3 学会共催の連合大会として開催することにな

りました。実行委員は、バイオインフォマティクス研究者が多く集まる産業技術総合研究所・臨海副都心センターの研究者及び、バイオインフォマティクス教育研究に積極的な東京工業大学・慶応大学・早稲田大学の教員を中心としたメンバーで編成されています。教育から産業までカバーできる体制を整えました。

現在、バイオインフォマティクスは一つの分岐点に立っていると感じます。バイオインフォマティクスは農業から医療まで幅広く利用されています。特にこの数年、次世代シーケンス技術に関連した解析ツールの作成がホットなトピックとなっていますが、基礎的な手法は一通り揃い、バイオインフォマティクス研究者の手を離れ、広く生命学者や産業において利用されるようになってきました。手法の研究は、新たなステージへ移動する必要が出てきています。

その一つが、現在様々な分野で話題になる人工知能技術の開発と応用です。例えば、生命科学分野では過去の知見を蓄積したデータベースが重要な役割を担っていますが、現状、人海戦術で作られる高コスト体質となっています。また、研究速度が年々加速したことで、全ての情報をデータベース化することは不可能になっています。人工知能技術により、一部でも作成をサポートしたり自動構築したりする技術が導入できれば、今より有益なデータベースが安価に作成でき、生命科学全体を底上げできる可能性があります。このようなデータベースを創る人工知能は、今まで蓄積のあるバイオインフォマティクス分野だからこそ、他分野に先駆けて構築可能なのではないのでしょうか？

そのような背景から、本大会では「ユビキタスな人工知能時代を先導する生命情報科学を考える」というテーマを掲げ、生命情報科学が生命科学だけでなく、情報科学も先導する世界を作ることを目指しました。進化の不思議の解明から、予防医療の実現まで、幅広い応用を見据えたバイオインフォマティクス技術と、その応用に関する最先端の研究発表の場にするとともに、ゲノム情報を活用した研究における社会との関わりを皆様と一緒に考える機会としたいと思っています。

本大会が生命情報科学研究および生命科学・環境科学、医学、薬学、数理・情報・統計学研究の発展のための場としてますます発展していくように、関係者一同、尽力してまいりますので、この分野に関心をもつ多くの方々にぜひご参加ならびにご支援をお願いできれば幸いです。

キーワード：人工知能、生命情報ビッグデータ、データ駆動科学、パーソナルゲノム、メタゲノム、環境ゲノム

使用言語：日本語（一部英語での発表も含む）

実行組織：

実行委員長	瀬々 潤（産業技術総合研究所）
会計担当	今井 賢一郎（産業技術総合研究所）
ホームページ担当	齋藤 裕（産業技術総合研究所）
口頭発表（一般）担当	佐藤 健吾（慶應義塾大学）
口頭発表（ハイライト）担当	清水 佳奈（早稲田大学）
ポスター担当	石田 貴士（東京工業大学）
BoF 担当	小寺 正明（東京工業大学）
招待講演担当	浜田 道昭（早稲田大学）
スポンサー担当	富井 健太郎（産業技術総合研究所）
JSBi 会長	清水 謙多郎（東京大学）
JSBi 年会幹事	五斗 進（京都大学）

想定参加者

想定参加層	大学、研究機関、企業
想定参加者分野	生命情報科学、情報科学、生命科学、医学、薬学
想定参加者数	約 400 名

参加費（予定）

会員	14,000 円
非会員	19,000 円
学生	5,000 円

## 企業展示・セッション

### ● スポンサーセッション、ランチョンセミナー、チュートリアル

種別	予定価格	募集 予定数	予定時間	Web・冊子 掲載ロゴ種別	招待券
スポンサーセッション (大) 収容人数 300 名程度	40 万円	2 社	1.5 時間	プラチナ	6 枚
スポンサーセッション (中) 収容人数 100 名程度	20 万円	2 社	1.5 時間	ゴールド	5 枚
ランチョンセミナー (※)	20 万円	6 社	1 時間	ゴールド	4 枚

※ お弁当代が別途必要です。100 人分の弁当代込の場合は、計 30 万円となります。

※ 会場により変動の可能性有(応相談)

### ● 展示ブース

種別	価格	ブースサ イズ (※1)	Web・冊子掲 載ロゴ種別	招待 券	電源 (※2)	平机 (※3)	ライトニン グトーク (※4)
プラチ ナ ブース	40 万 円	2 枠	プラチナ	6 枚	○	4 個	1 件
ゴール ド ブース	25 万 円	2 枠	ゴールド	5 枚	○	4 個	1 件
シルバ ー ブース	10 万 円	1 枠	シルバー	3 枚	○	2 個	1 件

※ 1 : ブースサイズ 1 枠は 1980mm x 990mm x 2400mm (予定)

※ 2 : 使用電力が 500W を超える場合はお問い合わせください。

※ 3 : 平机は W990mm x D990mm x H900mm (予定)

※ 4 : ポスター紹介を 1, 2 分で行う発表の中で、1, 2 分の企業宣伝を行う権利です。

Web・冊子掲載ロゴ種別詳細：

- プラチナ：当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「プラチナスポンサー」表示。  
会場案内板にもロゴの表示。プログラムにモノクロ2ページの広告を掲載
- ゴールド：当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「ゴールドスポンサー」表示。  
会場案内板にもロゴの表示。プログラムにモノクロ1ページの広告を掲載
- シルバー：当ウェブサイトにもロゴの掲載、及び「シルバースポンサー」表示。

● 広告掲載・カタログ配布

- パンフレット広告 5 万円
  - ◇ プログラムにモノクロ1ページの広告を掲載。Web にシルバー相当のロゴ掲載
- Web へのロゴ掲載、もしくは、Web へのバナー広告掲載
  - ◇ 20 万円：プラチナ相当のロゴ及び 250x130 ピクセル相当の Web 広告
  - ◇ 10 万円：ゴールド相当のロゴ及び 200x100 ピクセル相当の Web 広告
  - ◇ 5 万円：シルバー相当のロゴ及び 150x80 ピクセル相当の Web 広告
- カタログ配布 1 万円/100 部

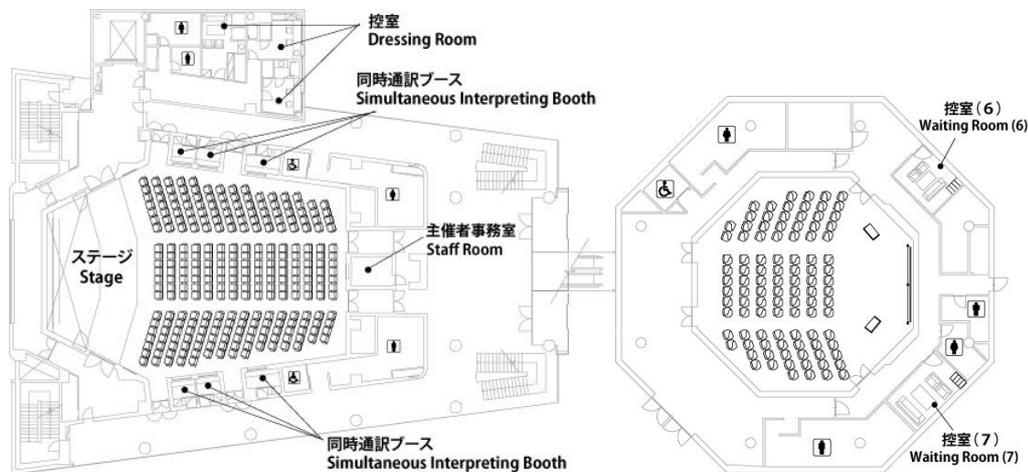
● 寄付または賛助金 1 口 5 万円：免税措置なし

連絡先

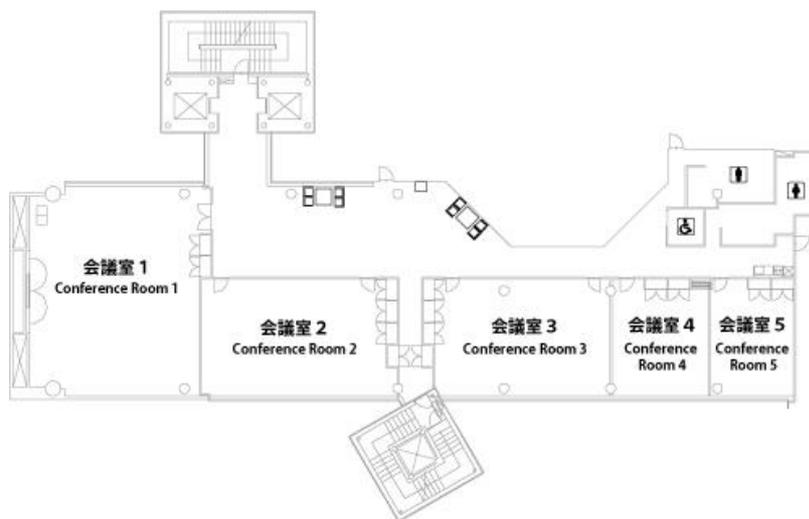
第5回生命医薬情報学連合大会（IIBMP2016）実行委員会事務局  
国立研究開発法人 産業技術総合研究所 臨海副都心センター別館 内  
135-0064 東京都江東区青海 2-4-7  
電話番号：03-3599-8356(産総研内)  
メールアドレス：iibmp2016@jsbi.org

参考：プラザ平成見取り図  
国際交流会議場

メディアホール



会議室



最大収容人数

部屋名	人数	部屋名	人数
国際会議場	479	会議室 3	36
メディアホール	102	会議室 4	18
会議室 1	100	会議室 5	12
会議室 2	50		

改定履歴

初版 2016/1/6  
改訂 2016/4/12  
改訂 2016/4/27  
改訂 2016/7/7